ゆいねっと通信



平成29年秋版 2017.10吉日発行

理事長挨拶

日頃は、関係各位の方々には大変お世話になり、この場を借りて感謝申し上げます。

当法人は、平成20年7月23日法人設立 平成21年3月より事業開始して以来足掛け9年を迎えます。 多機能型事業所として開設したワークチームゆいでは、成人を対象とした生活介護・就労継続B型を運営してまいりました。また、平成25年4月に放課後等デイサービスとして放課後クラブぴあの開設が出来、平成26年10月に児童発達支援療育ルームいろはの開設した事により、当法人の理念である生涯を通じた支援に1歩前に進めたことを、大変嬉しく思います。この間、様々の方々のご支援ご協力いただいた理事はもちろんスタッフ、利用していただいている利用者の方々に敬意を表したいと思っています。

さて、最近の国際・国内情勢は、混迷度を増して何が起こっても不思議ではない情勢になっています。その中で私たちが出来る事で大事なことは凡事徹底だと思っています。常日頃から各人・法人が掲げた理念・目標に向かって 1 歩ずつ歩みを進めていくことが、肝要かと思っています。たとえ、環境等が激変しても初心を思い返し発展を目指し、1人でも多くの方々の幸福を思い努力精進してゆきたいと思います。

また、科学技術の著しい発展により、新しい社会・文化・技術の扉が開かれようとしているように感じています。当法人としましては、基本理念(フィロソフィー)に基づき、創造的変化の早さに負けないよう今後も努力し続けていく事を 2018年度を迎えるにあたり、改めて決意している次第です。

最後になりますが、関係各位皆様方のご健康とご健勝をお祈り申し上げて、挨拶と代えさせていただきます。

特定非営利活動法人 ゆいねっと新居浜 理事長 明智 恭平

活動報告

☆「ゆいねっとStudy倶楽部」報告と予定

ゆいねっとStudy 倶楽部は、どなたでも参加できる発達障がい等を伴う子どもや成人の 方への支援のための学習会です。ホームページに開催予定日時などを掲載しております。参加 ご希望の方は、TEO897-33-4860までお申し込みください。

日時	主題	概要
2017. 4	『第30回 スケジュールの	•見通しのある安心した生活を送るため、個人に合
	必要性について』	わせたスケジュールについて学習した。
2017. 5	『第31回	・講師に四国中央市の社会福祉法人澄心の総合施
	成人期を見据えた支援につい	設長井原佳代氏を迎え、成人事業所での現状や就
	て』	労に必要なことを教えていただいた。
2017. 6	『第32回 発達障害の方の	・講師に今治市の特定非営利活動法人ライフサポ
	合理的配慮について』	ートここはうすの所長桑原綾子氏を迎え、合理的
		配慮とは何かを教えていただいた。
2017. 7	『第33回	・手順書、ワークシステムなどを使って、材料の
	親子でおやつ作り』	小分けの工夫をしながら、子どもたちが自立的に
		調理をする工夫を実体験した。

2017. 8	『第34回	台風のため中止。
	親子でリフレクソロジー』	
2017. 9	『第35回	・学校や関係機関と主体的に連携するには、どう
	座談会 連携について』	取り組めばよいか、グループワークをして話し合
		った。
2017.10	『第36回	・構造化の必要性と自宅でできる取り組みについ
	自宅の構造化について』	て、保護者の事例発表やビデオ視聴で学習した。
2017.11	『第37回 性について	• 講師に今治市の特定非営利活動法人ライフサポ
	~自閉症の障がい特性に基づ	ートここはうすの桑原綾子氏を迎え、第二次性徴
	いて』(予定)	と支援についてお話しいただく。
2017.12	『第38回 コミュニケーシ	・コミュニケーションの助けとなる教具の紹介、
	ョン支援と余暇支援』(予定)	余暇時間の適切な過ごし方の工夫について学ぶ。
2018. 1	『第39回 座談会	• 障がいを持つ子どもとその兄弟児への対応につ
	兄弟児の支援について』	いて、グループで意見交換を行う。
	(予定)	
2018. 2	『第40回	・スケジュール支援の必要性、スケジュールの使
	スケジュール支援について』	い方、作成の仕方など、基本を学ぶ。
	(予定)	
2018. 3	『第42回	・講師に四国中央市の今人倶楽部矢野志保氏を迎
	ヘルパーさんと安心外出』	え、移動支援、行動援護を安心安全に行うために
	(予定)	必要な準備や工夫について事例を交えお話しいた
		だく。

☆研修報告

日時	主題	概要
2017. 4	PECS 研修	・絵カード交換式コミュニケーションシステムについ
	(広島)	て学んだ。
2017. 5	9つの重要なコミュ	・5つの表出コミュニケーションスキルと4つの理解
	ニケーションスキル	コミュニケーションスキルについて学んだ。
	を教える研修(高知)	
2017. 6	行動援護従事者養成	• 行動援護の事例発表や、困難事例について氷山モデ
	研修フォローアップ	ルを使用し、グループワークで検討を行った。
	研修	
2017. 7	問題行動に対処する	・問題行動について、アセスメントや対応策など、系
	ためのガイド(広島)	統的に学んだ。
2017. 7	障がい者虐待の防止	・市内で行われた虐待防止の研修会に参加した。
	について	
2017. 7	TTAPを活用した	・四国中央市にて、TTAPのフォーマルアセスメン
	アセスメント研修	ト、インフォーマルアセスメントについて学んだ。
2017. 11	服巻智子先生講演会	・NPO法人岡山県自閉症児を育てる会主催の服巻智
		子先生の講演会に参加予定。
2017. 11	PECS 研修	・絵カード交換式コミュニケーションシステムについ
	(岡山)	て学ぶ研修会に参加予定。

2017. 12	全職員法人研修	・桑原綾子先生(今治市 ライフサポートここはうす 所長)を講師に招き、自閉症スペクトラムの障がい特 性について学習予定。
2017. 随時	愛媛県発達支援通園 事業連絡協議会	・県の協議会に所属し、情報交換や講演会に参加して いる。
2017. 随時	レベルアップセミナ ー	・川崎医療福祉大学にて、自閉症支援の事例を、グル ープワークを通して考える学習会に参加している。
2017. 随時	ソーシャルストーリ ー勉強会	・ソーシャルストーリークラブOKAYAMAに所属 している職員が、ソーシャルストーリーの書き方など の勉強会に参加している。
2017. 随時	みんなの勉強会	・ライフサポートここはうす(今治市)主催の勉強会 に参加し、障がい特性や防災など、障がい者支援のた めの勉強会に参加している。
2017. 随時	TEACCH プログラム 研究会香川支部 学習会	・TEACCH プログラムの実践報告や講演会などに参加し、実践に生かせるような情報を入手するために参加している。

3days 研修報告

8月11日~13日の3日間、当法人が主催し、実践的な職員研修会を開催しました。今年はワークチームゆいを会場として使用しました。メンバーに皆様には事業所お休みの日がありご不便おかけしました。 この研修では、TEACCHのトレーニングをモデルにしながら、自閉症スペクトラム症についての深い理解と個々の特性に対応するための技術の習得を狙いとしています。講義だけではなく、当法人が運営する事業所を利用されているお子さんや成人の方にモデルとしてご協力いただき、実際に教室や作業室で起きてくるような様々な状況に対応していくために、最初にトレイナーの動きを見て学び、それをヒントにトレーニングを受けるスタッフ(トレイニーと呼びます)が、自分たちで評価したことを元に構造化した支援を実践し、再評価を経て、また再構造化するサイクルを具体的に学べるようなプログラムになっています。 今回も小林信篤先生(横浜やまびこの里)に講義を、桑原綾子先生(ライフサポートここはうす)にはモデルクラスの統括、井原佳代先生(社会福祉法人澄心)と矢野志保先生(NPO法人今人倶楽部)にトレイナーをお願いし、ご指導いただきました。

裏方でお手伝いいただいたボランティアスタッフの方々の支えにも大変感謝をしております。チームで一緒に考えて学んだことを明日からの支援に活かしていけるよう、今後もこつこつ積み上げていきたいと思います。





多機能型事業所 ワークチームゆい活動報告

☆余暇活動

「おやつ作り体験」

生活介護では、6月の余暇活動として、フルーチェを作りました。牛乳で手軽にできるデザートですが、メンバーさんができるだけ一人でできるように写真の手順書(めくっていくタイプ)を作成しました。 また、材料ごと

に一人分ずつ小分けしてタッパーに入れて準備をしました。

手順書をめくってやり方を確認しながら、フルーチェが完成し、満足そうに味わっていました。手順書が使えるようになると、作業の手順書やお料理をする時のレシピなど、工程を確認しながら一人でやり遂げることができることが増え、自己肯定感や自信につながると良いなと考えて支援をさせていただいております。お家でも取り組んでみたい方には手順書のコピーをお渡しします。





「職場体験受け入れとバトミントン」

7月4日(火)~6日(木)新居浜市立南中学校2年生の生徒さん2名がワークチームゆいで職場体験学習を受けられました。当事業所への事前電話アポイントメントから、打ち合わせなどを含めて生徒さんが自立的に主体的に参加されていて、とても頼もしく感じました。事業所の「サポーターの心得」のプリントを使って、特性についてと注意事項などガイダンスを行ってから、支援に入りました。

2日間は生活介護の余暇活動があり、一緒に総合福祉センターアリーナに出かけ、バトミントン協会のボランティアさんのご指導の下、メンバーさんと一緒にバトミントンを楽しんだり、シャトルを投げてラケットに当てる練習のお手伝いをしていただきました。







多機能型事業所 放課後クラブぴあ・療育ルームいろは活動報告・お知らせ

☆療育ルームいろは(児童発達支援)での活動の様子

療育ルームいろはは、7月中旬に一宮町の事業所から新居浜市総合福祉センター放課後クラブぴあ内に引っ越しを行いました。市内では児童発達支援へのニーズが増加しており、より充実した支援の提供を行っていきたいと思っています。

いろはの支援について

- •安心して過ごすため、見てわかるスケジュールを個別に用意しています。
- •活動のエリアを構造化し、それぞれのエリアで目的を持って療育を行っています。

おあつまりエリア→小集団で対人スキル

(聞く、見る、まねる、返事をする、待つ、座るなど)を学ぶ。

おやつエリア→立体カードや PECS 等のコミュニケーションカードを使用し、選択、要求の仕方を 学ぶ。

1 TO1 エリア→ワークシステムの使い方、終わりの理解、SST、手指を使った課題 プレイエリア→小集団でかかわり遊び、余暇スキル、対人コミュニケーションを学ぶ。

・どの活動の中でも、コミュニケーションカードを使って、子どもたちが自発的に伝えることができるよう 場面をとらえて支援を行っています。欲しいものを要求する方法を知り、困ったときに適切な方法で他人に 援助を求められるようにコミュニケーションマインドを育んでいます。

おえかき→紙やペン、折り紙などを要求カード

おもちゃ→使いたいおもちゃを出してもらう要求カード

課題、あそび→困ったときに手伝ってもらう要求カード

☆放課後クラブぴあ(放課後等デイサービス)での活動の様子

・放課後クラブぴあでは、成人期を見据え、自立的に行動できるように、一人一人の将来像を思い浮かべながら、個別の支援を行っています。特に、移行支援の必要性を感じ、小学校から中学校への進学、中学校から高校への進学、高校から就労へ、より見通しを持って安心して移行できるよう、取り組みを行っています。例えば、小学校と中学校の相違点についてソーシャルストーリーで学んだり、仕事場面で必要とされる作業後の報告、家庭生活の自立のための家事スキル体験などです。

また、学校や関係機関との連携のため個別支援会議へ参加し、情報共有を行うとともに、ぴあでの療育の様子や有効と思われる支援方法をお伝えしたり、 ご家庭への家庭訪問を行い、室内の構造化や家庭でのスケジュール支援の ご相談をお受けしたりしています。保護者と協働療育者であるという意識を持ち、日々支援にあたっています。





販売活動・地域での活動

☆豆腐販売

ダイキ新居浜店、新居浜市内のファミリーマート(坂井店、徳常店、泉池店)での販売、企業訪問での即売、イベントへの出店など、ゆいの手作り豆腐を知っていただく機会をいただいています。原料にこだわった、ほんもののおいしい豆腐を心を込めて作っています。また、新しくおからかりんとうの取り扱いを始めました。がんばクッキーも取り扱っております。



販売依頼、購入のご希望は、ワークチームゆい(TelO897-47-5111)までお気軽にご連絡ください。

ご協力いただいている方々





☆賛助会員 個人 ご支援・ご協力ありがとうございます。

☆賛助会員(個人·法人)募集中

障がいを伴う方が地域で「住む・働く・余暇」等を通して豊かな暮らしを実現できる。 員を募集しております。会費は当法人の運営資金として役立たせていただきます。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

個人会員(一口 1500円/年)、法人(一口 10000円/年)

- ※会員登録期間は、1年間(9月~翌8月)です。
- ※お申込み、お問い合わせは、各事業所まで。

多機能型事業所ワークチームゆい 160879-47-5111

多機能型事業所放課後クラブぴあ・療育ルームいろは 私0897-33-4860

編集後記

日々の実践や研修の機会を通して、協働療育者である保護者の皆様が、サービス事業所や関係機関と密に連携を行うことが、当事者ご本人の生活をより豊かにすると実感しています。保護者の皆さんと一緒に考え、協働し、つながる法人でありたいと強く思います。